



所 管	まちづくり企画部企画課SDGs推進室		
担 当	鈴木	問い合わせ	0573-26-6806
所 管	まちづくり企画部情報政策課		
担 当	原	問い合わせ	0573-26-6809

報 道 機 関 各位

恵那未来キャンパス「ITチャレンジ2025」成果発表の 開催について

恵那未来キャンパスでは、DX人材育成のため、高校生がITシステムアプリの開発を通して市の課題認識と解決方法を学ぶ「ITチャレンジ」を開催します。第2回目となる今年度の課題は「公共交通機関の利用促進」とし、「公共交通機関で市内を巡りたくなる楽しいウェブアプリ」を制作します。最終日にはチームごとに開発したアプリを発表しますので、ぜひ取材くださいますようお願いいたします。

記

1. ITチャレンジ2025 成果発表

- (1) 日 時 令和7年3月15日（土曜日）午後2時から3時
※講評終了後、3時頃からインタビューなど可能です。
- (2) 参加者 高校生6人（2チーム）
- (3) 場 所 恵那未来キャンパス
- (4) 内 容 ①成果発表
開発したアプリを大型モニターに投影し、成果発表を行います。
②講評
恵那市長や、開発過程で各チームに助言を行ったメンターが講評を行います。
- (5) 講 師 o m e r o i d（オメロイド）株式会社（東京都）
※エンジニア・コンサルタントのプロ集団。ビジネスサポートや自社サービス開発を行っている。

2. ITチャレンジ2025の内容

- ・ 2月28日（金曜日）午後6時から7時30分
事前学習（課題の説明、ノーコードツールの概要説明等）
- ・ 3月8日（土曜日）午後3時から7時30分
取り組み方針の確認・ノーコードツールの操作方法の確認・システム開発
- ・ 3月9日（日曜日）午前10時から午後7時30分
未来キャンパスでのシステム開発
- ・ 3月10日（月曜日）～14日（金曜日）
チームごとに各自システム開発
- ・ 3月15日（土曜日）
成果発表

3. その他 本講座で開発するアプリは、一般公開・業務活用するシステムではなく、発表用のシステム（試作モデル）です。

高校生募集!

今年の課題は

『公共交通機関の利用促進』

ITチャレンジ2025

ミッション

公共交通機関で市内を巡りたくなる
楽しいウェブアプリを制作

※プログラミング技術は不要。(ノーコードツールを使います)
※本講座で開発するITシステムは、試作モデルです。

君のアイデアを
形にしてみよう



スタンプラリー
がいいな

クイズラリーも
できるかも!

日程	事前学習	2月 28日 (金)	18:00~19:30
	DAY 1	3月 8日 (土)	15:00~19:30
	DAY 2	3月 9日 (日)	10:00~19:30
	DAY 3	3月 15日 (土)	10:00~17:00

※9日は作業の進み具合により終了時刻が変更になる場合があります。

対象 高校生 【条件】★積極的に参加できること
★全日程参加できること

※3/10以降のシステム開発はチームでの取り組みになります。
チーム編成は事務局で行います。同じチームで参加希望の場合は
3人~4人一組でご応募ください。可能な範囲で配慮します。

場所 恵那未来キャンパス

講師 omeroid株式会社

定員 16名程度

持ち物 ノートパソコン(無い場合は貸出あり)

申込期限 令和7年2月21日(金)



※上記のイラストは生成AIで作成しました



お申込みはこちら▶▶

問合せ先

恵那未来キャンパス事務局

(恵那市役所企画課SDGS推進室)

E-MAIL: SDGS@CITY.ENA.LG.JP TEL:0573-26-2111

恵那未来キャンパス公式SNS



ウェブサイト



INSTAGRAM



LINE



FACEBOOK

講座の内容



スケジュール

2/28

事前学習

- ・課題の説明
- ・解決するテーマ決め
解決方法の検討
- ・ノーコードツール
概要説明



3/1～
3/7

担当者へヒアリング
事前調査

3/8

3/9

システム開発

- ・ノーコードツール
の操作方法の確認
- ・取組み方針の確認
- ・システム開発

- ・時間管理
- ・学習意欲
- ・チームワーク
- ・創造性
- ・コミュニケーション能力

3/10～
3/14

チームごとに作業

3/15

発表

- ・発表準備
- ・成果物発表
- ・講評



【ITチャレンジとは】

恵那未来キャンパスでは、令和5年度より、DX人材育成のため、ITシステム開発を高校生が行う『ITチャレンジ』を開始しました。

この講座は、恵那市の課題を解決するアプリシステムをノーコードツールを使って行うハッカソンです。今年は「公共交通機関の利用促進」につながるシステムを制作します。本講座を通してシステム開発のスキルはもちろん、開発に必要なヒアリング能力・チームワーク課題解決方法の考え方など高校卒業後も活かせるスキルを習得できます。また、講座終了時に『受講証明書』を発行します。

※ノーコードとは、プログラミング不要でシステムやアプリを開発する手法です。

※ハッカソンとは、短期間で集中的にアプリやシステムを開発するイベントです。



今後、感情や創造性が必要とされる仕事は、人間の強みを活かせるため、人工知能やロボットに代替えされにくいとされています。(例えば、ソフトウェア開発者、データサイエンティスト、教師、保育士、芸術家など)

高校生のうちに創造力やコミュニケーション力を身に付けることは、将来に役立つはずです。

昨年度のイベントの様子はこちらから→

